

0・1・2歳児の初めてののお話えほん

ひかりのくに

プエパオ

せいかつえほん テーマ：排泄

『トイレくんが まってるよ』

5領域
との
関わり

健 言 表

指導計画事例

・トイレに行こうと
する意欲を高める



ねらい

活動内容

環境や援助

からもご活用ください。↓

擬音のあるページ

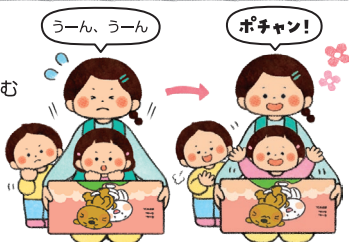
ねらい

盛り上げながら楽しく読む

活動内容

・リズムや身振りを
意識しながら読む

環境や援助



*おしっこの『ジョロジョロ』、うんちの『ポチャン』など、音に注目し、声に強弱をつけたり、リズムを変えたりしながら読む。

*16-17ページは、『うーん、うーん』の後に、少し間を空けて期待感を高め、『ポチャン』と読み、盛り上がりをつける。



読んだ後は…

ねらい

トイレに行く習慣をつける

活動内容 ・ トイレへ行きたい気持ちを育てる



環境や援助

- * 何度か読んだ後は、「ネコちゃん、どうしたのかな？」などといかけ、『おしっこがしたい！』『うんちがしたい！』という気持ちに気付けるように促す。
- * ひとりひとりのおおまかな排泄間隔をつかみ、子どもの様子を見逃さずに、「おしっこかな？ トイレくんがまってるよ。行ってみようか」と声をかける。

プチパオ読んで

プチパオで
つながる
園と家庭

幸せホルモンプラス

おうちでプチパオを楽しむポイントをご紹介します。コピーしたり、切ったりしておたよりなどにお使いください！



動画で
チェック！

3月号 ふれあいポイント

「寝め」の力で幸せプラス！



3月号はトイレトレーニングのお話です。まだ年齢が小さい子どもは、絵本のよう
にいつも上手にできるとは限らず、失敗してしまうこともあります。こういう時も、
成功か失敗かといった結果だけに注目するのではなく、失敗したとしても頑張った過
程に注目して褒めてあげてください。

そしてうまくできたときには、「やったね！」と思い切り褒めてあげましょう。
そのとき拍手をしたり、ハイタッチをしたりして子ども
と嬉しい気持ちを共有するといいですね。パパママも
嬉しいんだよ、という気持ちを伝えてあげることで、
子どもは嬉しさも倍増して、いろいろなことをやって
みようという気持ちが膨らんでいくことでしょう。

今回でプチパオの解説は最終回になります。子ども
にとってスキンシップの大切さはいくつになっても変
わりません。これからも日常のさまざまな場面でふれ
あいを大切にしながら子どもと関わっていきましょう！

幸せホルモンとは

オキシトシンは『幸福ホルモン』とも呼ばれ、親子のふれあいを
すると親にも子どもにもたくさん分泌されるホルモンです。その作
用は、大切な親子の愛着のきずなを築いたり、ストレスを小さくし
たり、睡眠の質を高めるなど様々な効果があります。



山口 創

桜美林大学リベラルアーツ学群教
授。専攻は健康心理学、身体心理
学。幸せホルモンとふれあいの関
係について研究している。「幸
せになる脳はだっこで育つ」（廣
済堂）など著書多数。「朝イチ」

「世界一受けたい授業」などへの
出演、各種雑誌媒体の監修も行っ
ている。